

授業科目名称 : MICE論

授業コード : 32607

授業科目英文名称 : MICE

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	2	2	選択	
担当教員				
森尾 真之（実務経験のある教員）				
展開方法	講義			
ナンバリング	CA225			
添付ファイル				
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標		評価手段・方法	評価比率
専門力	・産業としてのMICEの意義や特徴、推進の現状と課題、そして展望について説明ができる。 ・MICEの多岐にわたる業務について、それぞれの役割や業務内容を理解することができる。		企画書 レポート	50% 20%
情報収集、分析力	MICEの将来性や日本各地の施設の活用の課題について理解し、自分の意見として指摘することができる。		レポート	20%
コミュニケーション力				
協働・課題解決力	企画・提案における自分の強みは何かを考えることができる。		授業参加度・態度	10%
多様性理解力				
出席			受験要件	
合計			100%	

授業のねらい	MICEとは企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字を使った造語で、出島メッセ長崎や長崎スタジアムシティ、「グローバルMICE戦略都市」である福岡市など北部九州における拠点整備が進んでいる。その構造的な特徴として、旅行業・宿泊業など幅広い関連産業への大きな影響が期待される産業であり、「観光立国」のエンジンとして地域観光や経済の活性化に大きく資するビジネス領域に関わる多くの人材が求められている。本講義ではその意義や課題など実質的な知識を専門家の講義を通じた人材育成による事業支援を目的とする。		
アクティブラーニングの類型	② 授業の導入段階で授業テーマに学修者が興味・関心を持つように工夫する授業 ⑩ 学期途中で課題をだし、レポートを纏めることによって能動的な学修を喚起する授業		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	架空のテーマ設定による国際会議の具体的な運営方法を検討する企画書の評価を50%とし、自身のアイデアを表現するなどの論述を求める内容で理解度の評価を行う。課題レポートは講義内で数回実施され、MICE産業に携わる職業観とMICEが地域観光に資する意義を理解しているかどうかを、ポートフォリオからフィードバックとして評価する（40%）。		
授業概要	MICEに関する現役の実務家である各分野（会議運営会社、ホテル、会議施設など）の外部講師と旅行業での実務経験のある担当教員との協働による高度な専門的授業で、MICE産業のすそ野の広さと地域観光への影響の大きさを学び、将来的な専門人材育成につながる学習を行う。 また、本講義と並行して実践型講義「MICE実習（1単位）」が設定される（3年次履修） この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。		
教科書・参考書・指定図書	教科書/参考書：特に定めない。講義中にレジュメなどを配布し使用する。		
授業外における学修及び学生に期待すること	本講義はMICEの関係者に多大な支援を得て実施する講義であり、観光業、MICE関連産業のキャリアを真剣に考えたい学生を対象とするものであり、積極的な関心をもって授業に臨むことを期待する。また、第9回・第10回の現地研修については、長崎市内での実施を予定しているが、本講義の通常講義の時間帯以外での実施となる。講義の早い段階で実施日時を講義内で発表する。なお、現地までの交通費は自己負担とする。		
授業計画	回	テーマ	授業の内容
	1	オリエンテーション（講義の概要）	・講義の概要：①地域観光におけるMICEのポジショニングと戦略②産業としてのMICEの現状（どんな業務があるか） ・講義スケジュールの確認（現地研修日程など）
	2	MICEと地域観光政策①	【MICEの開催効果（経済効果・レガシー効果）】 なぜ国際会議・イベントを誘致するのか？ 我が国の訪日観光の戦略におけるMICE国際競争力の強化とMICE開催地としての認知度向上のためのブランディングとプロモーション方針を学ぶ。
予習・復習			
復：講義の概要を理解する。			
予：JNTO HPを確認 復：国の観光政策としてのMICEについて			

3	MICEと地域観光政策②	【MICE実施のために選ばれる街づくり（１）】 開催地の「魅力」はどのようにして演出し、発信するのか。開催地における会議開催のための機能、環境面から考える。	復：都市の観光政策におけるMICEの役割についてまとめる。
4	MICEと地域観光政策③	【MICE実施のために選ばれる街づくり（２）】 「選ばれる」観光地・都市のブランディングとは？ 都市の魅力をどのように創り、伝えるのか。欧米や国内の事例、都市のデザインから考える（ユニークベニュー）	復：魅力ある都市での対面来訪者の満足度向上のカギは。
5	MICEと地域観光政策④	【都市観光政策の司令塔コンベンションビューロー（CVB）】 MICEを地域の新しいアイデンティティとして、CVBによる会議を中心としたブランディングやMIの誘致などを目的とした各地域の観光政策を学ぶ。	復：都市の観光政策におけるDMOの役割
6	MICEと地域観光政策⑤	【コンベンションビューローの具体的な事例について】 長崎国際観光コンベンション協会の業務について学ぶ	予：長崎DMOのHP 復：長崎の会議の魅力を考える。
7	MICEと地域観光政策⑥	【スポーツによるまちづくり】 各地で開設が増えているアリーナ施設の特徴と、施設を利用した地域の参加型スポーツイベント活性化の実態を学ぶ。またスポーツツーリズムを競技者以外の視点から考える重要性について考える。	予：各地のスポーツアリーナのHPを確認する。
8	MICEを支える仕事① MICEと地域観光政策⑦	【地域におけるイベント（事例研究）】 地域の魅力や、新しい地域のブランディングにつながる各地のイベントの事例から、企画に至る背景や地域にどのような影響を及ぼすかを考える。	復：身近なイベントの地域における意義を考える。
9	企画提案（課題レポートの説明）	【課題レポートの説明】 架空の想定で設定された国際会議の具体的な運営方法を検討する企画書を作成する課題についての説明。（広島、沖縄などの競合都市に勝つための戦略も）	復：課題の概要を確認する。
10	MICEを支える仕事①PCO（１）	【会議運営会社（PCO）の会議誘致と運営】 MICEの誘致におけるPCOの重要な役割について学ぶ。日本におけるMICE市場の現状や誘致提案などに触れ、いかに主催者や参加者のニーズをくみ取るかを考える。	復：PCOの業務内容について整理する。
11	MICEを支える仕事②PCO（２）	【会議運営会社の施設管理について】＜現地研修＞ PCOが行う会議施設などの開発、コンサルティングおよび運営（指定管理者）について学ぶ。社会資本の整備手法としての制度についてもまちづくりの観点からの理解を深める。	復：出島メッセ長崎の差別化できるポイントをまとめる
12	MICEを支える仕事③国際会議場	【出島メッセ長崎見学】＜現地研修＞ 長崎のMICE拠点である出島メッセ長崎の施設を見学する	復：施設の特徴をまとめる。
13	MICEを支える仕事④ホテル	【ホテルのMICEにおける役割】 MICEの実施に当たり、ホテルは宿泊機能のみならず、会場としての役割や飲食サービスなど、サプライヤーとして様々な役割を担っていることを学ぶ（外部講師）	復：ホテルにおけるMICEの業務について整理する。
14	MICEを支える仕事⑤旅行会社	【旅行会社のMICEについて考える】 旅行会社におけるMICEビジネスの成り立ちについて学ぶ。	復：MIに関する旅行会社の役割を整理する。
15	講義のまとめ	【企画発表会】あらかじめ選抜された発表者による企画書課題のプレゼンテーションと講義の総括	復：一番良かったと思う発表とその理由をまとめる